

教科等や分野名：算数科

発表題目

「読解力育成」の視点を取り入れた授業づくり  
～6年生算数「拡大図と縮図」の指導において～

燕市立燕西小学校

荒井 琢郎（22年度）

主張

「問題をちゃんと読まないから間違えてしまった。」という話はよく聞く。いわゆるケアレスミスである。また、我々教師は「書いてあることを読めば分かるだろう。」や「言葉で説明すれば伝わるはず。」と考えがちである。しかし、全国学力学習状況調査の誤答を分析すると、教師が想像する以上に子どもたちは問題文を正しく読み取れていないことが明らかになった。問題文を正しく読み取る力は、学力向上を図る上での土台である。そこで、算数の学習において問題文の内容を正しく読み取る力を「読解力」と捉え、この力を高めるための方策を「燕市読解力育成プロジェクト」の理論をもとに検討した。そして、「読解力」を構成する視点の一つである「イメージ同定」に焦点を当てた授業を実践することで、問題文の内容を正しく読み取れる子を育成できるのではないかと考えた。